

# 第72回卒業式



3月1日(月)芸北分校格技場において、第72回卒業式を挙行することができました。芸北の地で育てていただいた30名の卒業生が、力強く旅立ちました。これまでお世話になった全ての方へ感謝の気持ちを込めて「ありがとう」

## <卒業生30名>

有場葵琉 石井 心 上田己瑚 上田涼夏 植田ひより 大下桃香 大出愛美  
 大成湊斗 岡崎菜緒 沖健太郎 柏木太陽 片桐悠輔 上前梨香 河野小雪  
 榮田つぐみ 佐々木唯豊 杉本菜月 住谷謙次郎 高橋壺成 高橋龍雅  
 橋本和花 深井 汐 前田 悠 舛見麻衣 松浦叶翔 松尾建成 松尾純青  
 宮川晴希 山田潤也 吉村友香



卒業証書授与



在校生送辞



学校長式辞



卒業記念品贈呈



卒業生答辞



分校長挨拶

# 芸北教育

芸北分校  
 広島県立加計高等学校

314号

令和3年  
~3月~

全国から入学できます！  
 男子寮、下宿、女子寮、下宿完備。町から月一万円の補助制度あり。見学随時可能。  
 (電話) 〇八二六・三五・〇七二六



後輩の皆さん、**芸北分校の新しい伝統**を築き上げてくださ  
い。そして、芸北で支えていただいた地域の皆様、心から感謝  
します。「**ありがとうございます**」



私たちは、**芸北分校でそれぞれの殻**を破りました。これ  
からも、置かれた場所と立場において、**精一杯自分なりの**  
**花を咲かせます!**



3月1日(月)に2年連  
続で卒業生、保護者、在校  
生代表、教職員のみでの卒業  
式が行われました。この1  
年間において非日常であ  
った行動様式が日常化し

## 第72回 卒業式



てきつつあります。  
しばらくは続くこ  
とになるであろう

この環境下で、引き続き、自分ができる精一杯のこゝとをやるしかありません。卒業生30名は、**元気よく**芸北分校を巣立っていきました。

### 三年生を送る会

2月26日(金)芸北分校格技場において3年生を送る会を実施しました。昨



年は3年生不在の送る会となり、芸北文化ホールにて、急遽、**DVD収録**を行いました。今年度は、短時間ではありましたが、神楽部、

各学年の出し物に3年生一同は満足した様子でした。



三年生を送る会

### 1・2年生の感想(抜粋)

●3年生さんが喜んでくれるのが不安でしたが、笑ってくれて、楽しんでもくれて**嬉しかったです**。(1年)



●3年生に**感謝の気持ち**を伝えることができたと思うし、笑いとる

ことができて成功したと思います。(1年) ●情報提供をしてくださった先生方や出演してくれた仲間**に感謝**します。本当に**楽し**かったです。来年も**今年以上のクオリティ**になるよう頑張ります。(1年)

●1年生の発表がすごく面白くてその後の発表は少し緊張しました。しかし、最後までやり切ることができました。3年生から**「おもしろかったよ」**と言ってもらって嬉しかったです



です。(2年) ●神楽では毎年違うことに**チャレンジ**し、先輩たちに出演してもらい楽しませることができたと思います。学年の出し物は**1年生の出し物のインパクトが凄かった**ので不安でしたが、練習の時よりも出来は良かったし、笑ってもらえたので良かったです。(2年) ●途中でセリフを間違えたりして焦りましたが、**皆が笑**ってくれて安心しました。(2年) ●「送る会」が3年生と会う最後の日になりました。自分たち後輩が**芸分生らしい**ものを見せることができて良かったと思います。(2年)

贈る言葉

したいことはあきらめず  
すべきことはあせらずに  
できることはくらすに  
感謝の日差しに花が咲く  
不満の嵐に花が散る

これは、卒業式直前の同窓会入会式で芸北分校後援会・同窓会の壽老会長が卒業生に対して、はなむけの言葉として贈られた言葉です。ご自身が読書されていた時に心に残った一節のようです。人は皆、「したいこと、すべきこと、できること」は内容も思いも異なります。日々、「感謝」の気持ちを入れて物事に取り組み、相手を「慮る」行動が自分を高めることができ、それぞれの道が開けてくるものであるというお話でした。

「言葉」というものは、目には見えない力があります。プラスの言葉として人を元気づける言葉、勇気づける言葉、励ます言葉、奮い立たせる言葉等々・・・逆に、マイナスの言葉として相手を不安にさせたり、傷つけたりする言葉もあります。卒業生の皆さんにとっては、これからの人生において迷ったり、悩んだりすることがあるでしょう。どうか、そんな時には**自分自身が素直に原点に戻るような言葉を思い出して前を向いて進んでください。**

「卒業おめでとう」  
(太公望球児)